

令和8年度
幼稚園生活のしおり



中央区立明正幼稚園

【 目 次 】

1 幼稚園とは	2
2 明正幼稚園の教育	3
3 入園までに	4
4 『ルクミー』	5
5 幼稚園の生活	6
6 幼稚園の行事・活動	10
7 服装と持ち物	11

1 幼稚園とは

幼稚園は、幼児が初めて出会う学校、初めての集団生活の場です！

学校教育法において

第一章 総則 第1条

「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする」とされています。

「遊び」を通してたくさんのことを学んでいます！

「幼稚園では遊んでいるだけでしょうか？」「文字や数などの勉強はしないの？」と思われる方が多いかもしれません。「遊び」にはたくさんの教育的価値が含まれており、直接的な体験、様々な感情体験を通して、非認知能力を高め、身に付けたい資質・能力を育む、幼児期に最も適した学び方とされています。



なぜ、幼児期にふさわしい学び方が「遊び」なのでしょう？

生活に必要な能力や態度などの獲得については、大人の話聞いて理解して知識を身に付ける、ということがまだまだ難しい時期です。幼児自身が自発的に環境と関わり、体験的な「遊び」を中心とした生活の中で、自らの生活と関連付けながら、好奇心や必要感をもつことが大切です。また、幼児の心身の諸側面は、それぞれが独立して発達するものではなく、相互に関連し合うことによって発達していきます。

これらを踏まえ、小学校以降のような教科書を使用した授業による教科別の抽象的な学び方ではなく、「遊び」を中心とした生活の中で、直接的、体験的かつ総合的に学ぶことが幼児期に最もふさわしい学び方だと言われています。



充実した「遊び」に向けて

「遊び」は、興味をもった遊びを自分からやってみて、想像力を働かせながら様々なことを感じ、考え、じっくりと試行錯誤し、思いを教師や友達と共有する、その過程を楽しんだり、達成感を味わったり、さらに関心を高めたりする、主体的な「学び」です。幼稚園では、教師が幼児一人一人の興味や関心を丁寧に読み取り、発達に必要な経験を見通して、綿密な指導計画を立てています。そして、計画に基づいて環境や教材、活動を工夫し、適切な援助を行いながら、「遊び」を充実させ、幼児の主体的な「学び」を支えています。私たち教師は、幼児教育の専門家として、園内で研究会を実施したり、園外の研修会や講座等に参加したりして、日々研鑽を重ねています。

2 明正幼稚園の教育

1 教育目標

心身ともに健康で、生涯にわたって自己を発揮し、人間性豊かで主体的に行動できる幼児の育成を目指して次の目標を掲げ、その実現に努める。

○よく考える子	-自分で考え、進んで行動する子ども-
○なかよく遊ぶ子	-思いやりがあり、感情豊かな子ども-
○あかるく元気な子	-心身ともに健康で、いきいきと遊ぶ子ども-

教育目標は、幼稚園と保護者、地域が共通認識としてもつ目標であり、常に意識しながら幼児の成長を促し、支援していきます。

2 教育目標を達成するための基本方針

○教育目標1「よく考える子」

- ・夢中になって遊びや活動に取り組む中で、豊かな感性や表現力を育み、思考力の芽生えや学びに向かう力を培います。
- ・遊びや生活の中で数字やひらがな等に親しみ、数量・図形・文字等への関心や感覚を高めます。
- ・日本の伝統的な行事に親しんだり、異なる文化に触れる経験をしたりする中で、社会生活との関わりや国際理解の意識につながる力を育みます。

○教育目標2「なかよく遊ぶ子」

- ・幼児一人一人が伸び伸びと生活し、遊びを創造する中で、思いやイメージを実現する力や生きる力の基礎を育みます。
- ・友達と共に進める遊びや活動を取り入れることで、互いの思いや考えを共有し、工夫したり協力したりする協同性を育みます。
- ・教師や友達と関わり合いながら遊びや生活を送る中で、自分の思いを言葉で伝える力や、相手の気持ちを考える力を育みます。

○教育目標3「あかるく元気な子」

- ・あいさつ、返事、身支度、片付け等の基本的な生活習慣を身に付けることを目指し、幼児の自立心を育みます。
- ・幼稚園や学級の一員として生活を送る中で、集団生活に必要な態度を身に付けたり、相手を思いやる経験をしたりし、道徳性や規範意識の芽生えを培います。また、様々な人との関わりや自然と触れ合う経験を通じ、人権尊重の精神や自然を大切にすることを育みます。
- ・自分の体を十分に動かし、体を動かす気持ちよさを感じることで、心身共に健康で、意欲的に遊びや生活を進めていく態度を育みます。

○教育目標達成に向けたその他の事項

- ・幼稚園・家庭・地域の三者が幼児の成長を見守り、互いに協力し合い、共に育てる姿勢のもと、幼児の健やかな成長を促します。

3 入園までに

以下のような習慣が身に付いていると、園生活を安心して過ごせます。大人が手本となり、無理なく徐々にできるようにしていきましょう。

- (1) 『早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち』の習慣を付けましょう。
- (2) 食事は、食器を自分で持ち、自分で食べられるようにしましょう。
- (3) 「おしっこをしたい」「痛い」などの意思を自分から伝えられるようにしましょう。
- (4) おむつからパンツへ移行し、排泄後の始末の仕方を伝えていきましょう。
- (5) 鼻水の始末の仕方を、手を添えながら伝えていきましょう。
- (6) 手洗いとうがいは、自分で行えるようにしましょう。
- (7) 衣服や帽子の着脱、靴を履いたり脱いだりすることを、自分でできるようにしましょう。
- (8) 園から配布された自分の持ち物のマークを分かるようにしておきましょう。
- (9) 名前を呼ばれたら「はい」と返事をできるようにしましょう。



4 『ルクミー』

1 『ルクミー』でできること

- (1) 「連絡帳」機能
 - ・保護者の方からの欠席、遅刻及び早退等の連絡
- (2) 「おたより」機能
 - ・園からの園だよりや教育活動等に関する手紙の配信
 - ・園生活の様子等の配信

2 『ルクミー』使用における個人情報の取扱いと利用登録

- (1) 『ルクミー』を使用するにあたり、幼稚園では保護者の方だけがご覧になることを前提に、園児の写真等を掲載し保育の内容を発信していきます。その際、園児の名札が写っている場合があります。
- (2) 保護者の方におかれましても、『ルクミー』で配信された園児の顔や氏名等の個人が識別できる情報をインターネット上に掲載しない等、個人情報の取扱いに注意を払うようお願いいたします。
- (3) 目的外の使用により、個人情報の漏洩等が生じた場合やトラブルに巻き込まれた場合に、中央区教育委員会及び幼稚園では責任を負うことができません。
- (4) 上記(1)～(3)をご確認いただけた方は、別紙「ルクミー for FAMILY 登録用コードのご案内」から手順に従い、ご登録ください。

3 『ルクミー』での連絡ルール

欠席、遅刻、早退の場合は、朝8時15分までに「連絡帳」で送信してください。

(1)欠席する場合

- ・欠席理由を選択するとともに、連絡欄に詳細を記載して送信してください。
 - 「病気・体調不良」→発熱38.0℃、咳、鼻水、下痢、骨折 等
 - 「感染症」→インフルエンザA型、みずぼうそう 等
 - 「家庭の用事」→忌引きのみお知らせください。
 - 「その他」→けがのため通院 等
- ・欠席の連絡なく登園していない場合は、幼稚園から安否確認の連絡をします。

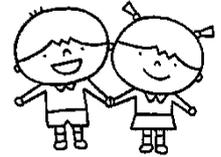
(2)遅刻、早退する場合

- ・遅刻、早退の時刻を記入して送信してください。

(3)その他

- ・8時15分を過ぎて変更がある場合は、園に電話で連絡してください。
 - *アプリ画面上は9時まで変更できる旨が記載されていますが、登園開始の8時45分以降は、安全管理上教員は確認ができません。8時15分までの送信にご協力ください。
- ・その他の連絡については、『連絡用紙』に記入し、登園時は玄関の引き出し、それ以外の時間は、教職員に手渡ししてください。降園後から16時30分までは、お電話でも構いません。
- ・園からのおたよりは必ずご覧ください。なお、「保護者の確認通知あり」の場合は、「確認する(または確認しました)」をタップしてください。
- ・水遊び実施時期(6月中旬～9月中旬)は、登園の際の検温と体温の入力にご協力いただきます。

5 幼稚園の生活



(1) 登降園

①欠席・遅刻・早退の連絡

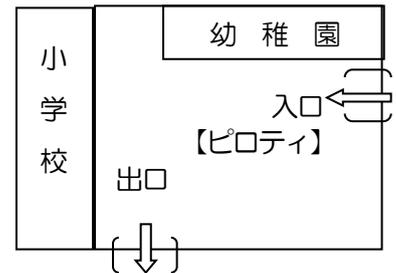
- 『ルクミー』の連絡帳から、朝8時15分までに、欠席、遅刻、早退等を送信してください。
- 下痢や嘔吐の場合は体調を整えることを最優先するとともに、特に感染の可能性が高いため、症状が完全に治まるまで休ませてください。
- 電話で連絡する場合は、8時15分～8時30分の間を目安に掛けてください。
- 前もって欠席や遅刻、早退が分かっている場合は、ルクミーの入力と合わせて、連絡用紙でお知らせください。

連絡用紙

- 園に連絡したいことがある場合にお使いください。記入した連絡用紙は、玄関の学級別引き出しに入れる、または、教職員に手渡ししてください。
- 連絡用紙は、入園時にお渡しします。学級別引き出しにも置いてありますのでお持ちください。

②登園時間

- 午前8時45分～55分です。8時55分以降は安全管理上、門と玄関を閉めます。時間内の登園にご協力ください。遅れて登園する場合は、門の幼稚園インターホンを鳴らし、学級名及び名前を伝えていただくとともに、入園証(入園時にお渡しします)を提示してお入りください。なお、幼稚園の応答がない場合には、小学校インターホンを鳴らしてください。
- 8:45に開門します。開門までは親子で手をつなぎ、門に沿って並んでお待ちください。玄関前のピロティは走ると危険です。
- 登降園時は、ピロティは一方通行です。幼稚園側から入り、玄関で挨拶後、小学校側からお帰りください。(右図参照)



③降園時刻

- 通常の降園時刻は下記の通りです。水曜日、昼食はありますが他の曜日と降園時間が異なります。行事により変更する場合は、園だよりや『ルクミー』、玄関掲示等でお知らせします。

学年	曜日	降園時刻	曜日	降園時刻
年少組	月・火・木・金	14時00分	水	12時30分
年中組		14時10分		12時40分
年長組		14時20分		12時50分

- 降園時刻の10分前に開門します。
- 降園時刻の5分前に、ピロティに集合してください。担任が一日の様子と連絡事項をお伝えします。
- 年少組の入園当初は、弁当はありません。慣らし保育として、園生活の様子を見ながら徐々に保育時間を長くしていきます。日々の降園時刻は、『園だより』でお知らせします。5月末を目安に通常の降園時刻にする予定です。

【参考:令和7年度 慣らし保育期間の保育時間】

日時	保育時間
4月10日～4月11日	8:55～10:30※
4月14日～4月18日	8:55～11:30※
4月21日～4月30日	8:45～11:30

日時	保育時間
5月1日～5月9日	8:45～12:30
5月12日～5月23日	8:45～13:00
5月26日～5月30日	8:45～13:30

※入園当初は年長児が年少児の身支度の手伝いをするため、通常より10分遅れて登園になります。

④送迎

- ・送迎は保護者の方が行ってください。安全管理上、中学生以下の兄妹は保護者とみなしません。祖父母や別の方が迎えをする場合は、事前にその旨を連絡用紙か『ルクミー』でお知らせください。
- ・連絡用紙は玄関に置いてあります。登園時に玄関の学級別引き出しに入れるか、降園時に担任にお渡しください。
- ・安全管理上、園内に入るときは、入園証を身に付けてください。入園式当日に配布します。
- ・8時15分以降、やむをえず登降園時間に遅れる場合は、電話にて連絡してください。
- ・遅刻や早退の際は、玄関または職員室にいる教職員が対応します。できない場合もあるため、その場合は安全管理上、保育室まで行き担任の元で直接送迎をしてください。(玄関から幼児だけで保育室に行くことのないようにしてください。)
- ・登降園は、大人が必ず手をつないで歩きましょう。親子で歩きながら危険な場所を知らせ、安全な歩き方や交通ルールを身に付けることで、幼児が自分の身を自分で守ることにつながります。また、大切な親子の触れ合いの時間になります。手をつないで歩くことで子どもは安心感をもち、心の安定にもつながります。さらに歩くことによって健康な体がつくられます。
- ・登降園中は、通園バッグ、園帽子、園服を、幼児自身が身に付けてください。
- ・ベビーカーは、幼稚園玄関の壁に沿って置くことができます。弟妹は保護者の方のそばで過ごすようにしてください。
- ・幼児の名札は、防犯のため見える状態のまま外に出ないようにしてください。年長組の名札は年度途中より園内で預かり、自分で付け外しをします。預かり開始時期は担任からお伝えします。
- ・預かり保育「クローバルーム」利用の際は、降園時に幼稚園玄関にある各クラスのホワイトボードをご覧ください。

⑤自動車・自転車について

- ・幼稚園には駐車駐輪場がありません。自動車・自転車での送迎は禁止です。
- ・幼児が乗る自転車やスクーター等は持ってこないでください。

(2) 学校感染症

- ・下記の病気にかかった場合は、直ちに幼稚園にご連絡ください。病気が治癒するまでは出席停止になります。

主な学校感染症と、その出席停止期間

・新型コロナウイルス感染症	発症後5日を経過し、かつ症状軽快後1日を経過するまで
・インフルエンザ	発症後5日を経過し、かつ解熱後3日を経過するまで
・麻疹(はしか)	解熱をした後、3日を経過するまで
・流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発現後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
・水痘(水ぼうそう)	すべての発疹がかさぶたになるまで
・風しん(三日ばしか)	発疹が消失するまで
・咽頭結膜熱(プール熱)	主な症状(発熱、めやに、喉の痛み)がとれた後、2日を経過するまで
・伝染紅斑病(リンゴ病)	発疹のみで全身状態の良いものは登園可能
・手足口病	全身状態が安定している場合は登園可能
・ヘルパンギーナ	主な症状(高熱、下痢、嘔吐)がとれるまで
・感染性胃腸炎(ノロウイルス 他)	治癒するまで
・溶連菌感染症	適切な抗菌薬療法開始から24時間以降

- ・感染症に罹患し出席停止となった場合は、医療機関からの『登園許可証明書』を提出してください。用紙はホームページから印刷できます。職員室へ取りに来ていただいても構いません。
※新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザについては、現段階では提出の必要はありませんが、罹患の旨を幼稚園にお知らせください。
- ・出席停止期間中は、欠席扱いになりません。
- ・上記は、集団生活をする中で幼児期にかかりやすい病気です。お互いに思いやりの気持ちをもって接していただきますよう、ご配慮をお願いします。
- ・インフルエンザのような感染症が急激に拡大した場合、園医及び中央区教育委員会との協議により該当の学級または学年、あるいは園全体を閉鎖することがありますので、ご承知おきください。
- ・家庭からの飲み薬を預かることはできません。※アレルギー対応につきましては、その限りではありません。

(3) 病気や怪我

① 保育活動中の場合

- ・体調を確認の上、必要がある場合は携帯電話にご連絡します。状況によってはお迎えをお願いすることがあります。
- ・幼児は、朝元気に登園しても、途中で急に体調が悪くなる場合があります。保育時間中に外出される場合には、園からの急な連絡に備えてください。
- ・怪我をして病院での治療が必要な場合は、すぐに連絡をします。緊急の場合には、教職員が病院に連れて行くことがあります。その際には、必ず保険証及び乳幼児医療証を持参し、お知らせした病院にお越しください。
- ・幼稚園の管理下で起きた負傷に対して医療を受けた場合、所定の条件を満たしている際には、「日本スポーツ振興センター」から給付を得られます。入園時に加入しており、共済掛け金は教育委員会が負担します。

② 通園途中の場合

- ・通園途中の事故は、『幼児生活表』に記入された通園路上に限り「日本スポーツ振興センター」の保障が適用されます。通園路は「通園路指定地図」を基に記入していただきます。

(4) 地震・火災、風水害、不審者侵入等の災害及び非常事態発生時の対応

① 幼稚園にいる時に発生した場合

- ・保護者の方々に確実に幼児を引き渡すまで、幼稚園が責任をもってお預かりいたします。
 - ・災害、非常事態宣言が発生、もしくは発生の恐れがあるときは、『ルクミー』やホームページ等によりお知らせし、降園時刻を繰り上げてお迎えをお願いする場合があります。
 - ・気象庁よりこの地域に関わる災害に関連する臨時の情報が発表された場合や、地震や火災等が明らかにこの地域に発生したことをお知りになった場合は、発表・発生を知った時点ですぐにお迎えをお願いします。
 - ・引き渡し場所は、その時の状況により決定します。来園時に、教職員の指示に従ってください。
- ☆緊急時の引き渡しの際には、確実に引き渡しを行うために『緊急災害用園児個人カード』により引き取り者の確認をします。新入園児保護者会で配布しました用紙に記入後、提出をお願いします。

② 自宅にいる時に発生した場合

- ・気象庁よりこの地域に関わる災害に関連する臨時の情報が発表された場合は、休園となります。
- ・休園や始業の遅れを必要とする事態が発生した場合は、『ルクミー』でお知らせします。
- ・登園前に台風の接近や大雪その他の風水害、災害が発生または予想され、登園の安全確保が危ぶまれる場合は、幼稚園からの指示が無くても、ご家庭で判断され、災害等がおさまってから、または天候が回復してから、安全に留意して登園してください。電話回線やネット環境が通じている場合は、その旨をご連絡ください。

(5) 家庭との連携・連絡について

幼児のよりよい成長のために、本園では下記のような取り組みを通して家庭との連携、連絡を図ってまいります。幼稚園とご家庭とで情報共有をしながら相互に幼児理解を深め、健やかな成長のために手を取り合っていきましょう。育児についての悩みや心配なことがあるときには、いつでもご相談ください。

- ・保護者会
- ・学級懇談会
- ・個人面談
- ・『ルクミー』
- ・幼稚園公開
- ・保育参加
- ・登降園時の連絡
- ・玄関前のホワイトボード
- ・園だより
- ・行事のお知らせ
- ・ホームページ
- ・けんこうカード（幼稚園での健康診断の結果）等

○保護者会、学級懇談会には全員出席してください。

- ・やむを得ず欠席する場合は、必ず事前に連絡用紙でお知らせください。
また、内容については、他の保護者の方からお聞きください。
- ・小さいお子さんは、お手元で静かに過ごせるように絵本や音の出ない遊具等をご用意ください。



(6) 諸費の納入について

○入園料及び保育料は、無償です。

○毎月上旬に郵便口座から引き落としをして納めるもの（12ヶ月）

① 教育活動費（教材代）1ヶ月 1,000円

- ・郵便口座「自動払込利用申込書」にご記入の上、手続きをしないで2枚綴り全てを提出してください。
- ・引き落としができなかった場合には、現金にて徴収いたします。
- ・一回の引き落としに手数料10円が掛かります。
- ・兄弟姉妹が在園している方は、まとめた引き落としも可能です。

② PTA会費 1ヶ月 1,000円

③ 1ヶ月の合計 2,000円

※毎月1日時点で在籍の方が引き落としの対象です。月途中で退園する場合、諸費の返金はいたしかねます。ご了承ください。

○用品代、遠足代については、その都度お知らせして集金します。お釣りのないようにご用意ください。

(7) 退園について

退園する場合は、所定の手続きが必要になります。お決まりになりましたら、担任までお申し出ください。

(8) アレルギーについて

- ・食べ物や動植物など、特定の物に対してアレルギー反応がある場合は、入園前に必ずお知らせください。
- ・幼稚園で栽培した野菜を食べるなど、幼稚園で食べ物を提供する場合には、事前に原材料をお知らせしますので必ず確認をして、アレルギーが心配な方や初めて食べる物がある場合には、連絡用紙に記入して担任にお知らせください。

(9) 個人情報の扱いについて

- ・幼稚園では教育活動に必要な個人の情報を提供していただき、ご家庭と共有させていただくことがあります。必要最小限の情報に留めるとともに、管理には十分配慮してまいります。
- ・幼稚園内は教育活動の場です。写真や動画の撮影は、特定の行事（入園式・修了式・誕生会・運動会・こどもかい・おんがくかい）以外は、ご遠慮ください。
- ・撮影はご自身のお子さんを中心にしていただき、撮影したものはご家庭内でお楽しみいただくことに留め、SNS等に掲載することはご遠慮ください。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。
- ・幼稚園 HP 等では、個人が特定されぬように十分配慮して園児の写真を掲載することがあります。また、『ルクミー』では、園児の保護者のみ閲覧可能であることから、個人が特定される形での掲載もあります。掲載の希望可否につきましては、入園後に承諾書による調査をいたします。



6 幼稚園の行事・活動

一人一人の幼児が、発達に応じて豊かな経験を積み重ねていくために、幼稚園では、いろいろな行事や活動を計画しています。

幼児の成長の節目をみんなで祝うもの	入園式、修了式、誕生会（※1）、季節の行事（こどもの日の会、七夕の会、お月見会、敬老ふれあいデー、節分の会など） など
保育活動のまとめとして行うもの	運動会（※2）、こどもかい（※3）、音楽会（※4） など
幼児の遊びや生活、経験の幅を広げるもの	遠足（18ページ参照）、国際理解教室（※5） など
健康・安全・環境教育面から指導するもの	身体測定、健康診断、避難訓練（※6） 生活安全指導・交通安全指導（※7） など

*保護者が参観・参加する行事の詳細については、近くなりましたら『ルクミー』でご案内します。

【行事・活動例紹介】

※1 誕生会

その月の誕生児をみんなでお祝いします。

該当児の保護者の方にご参加いただきます。時間、会場につきましては、園だよりと招待状でお知らせします。

写真撮影は可能です。ただし、自席をお願いします。また、近くでの撮影が続くと幼児の気が散るため、動画撮影はご遠慮ください。

※2 運動会

みんなで走ったり踊ったり、簡単なルールのある運動遊びを行ったりして、楽しいひとときを過ごすとともに、体を動かす心地よさを味わいます。

※3 こどもかい

学年の発達に応じた表現活動（劇）に取り組み、保護者の方に参観していただく行事です。

※4 音楽会

学年の発達に応じた表現活動（音楽的表現）に取り組み、保護者の方に参観していただく行事です。

※5 国際理解教室

日本や諸外国の文化や言葉などに親しむ活動です。

※6 避難訓練

万一の災害に備えて、火災や地震等を想定して毎月1回行っています。保護者の引き取り訓練も計画しています。

※7 生活安全指導・交通安全指導

日常生活における安全な習慣や登降園の際の交通安全を身に付けて、幼稚園生活を楽しく過ごせるようにするために、毎月1回行っています。また、遠足では、歩道の歩き方や公共の場所でのマナーについて指導します。

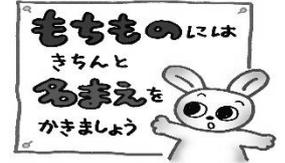


7 服装と持ち物

○幼稚園に持ってくる全ての物に必ずひらがなで名前を記入してください。(3年間使用しますので、組名は書きません。)

○年少組・年中組は名前とともに、家庭で決めた「マーク」を付けてください。

○知り合いから譲り受けた用品は、必ず名前やマークの書き直しをしてください。



○図で示している物は基本形です。サイズやデザイン等は多少異なっても構いませんが、必ず幼児が自分で扱える物にしてください。ただし、サイズは見本より小さいと幼児には扱いにくいです。

巾着型の袋は、厚手のキルティングは適しません。紐が絞しやすい布地を選んでください。

○用品の中には、入園前にお渡しする物や入園後にお渡しする物、時期がきて使う物、担任が保管・管理する物があります。

○以下、幼稚園を通して購入する物とご家庭でご用意いただく物の一覧です。

園を通して購入していただく物	ご家庭で用意していただく物
園服（夏用・冬用） 園帽子（夏用・冬用） 通園リュック 半袖の体操服（白） 紺の半ズボン 防災頭巾 はさみ クレパス <用品受け取り日にはお渡ししない物> 名札、カラー帽子 <ul style="list-style-type: none"> 入園式に学級発表をするため、入園式にお渡します。ただし、1学年が単学級だった場合、カラー帽子は用品受け取り日にお渡します。 名札は教材費より購入します。 氏名ゴム印（平仮名） <ul style="list-style-type: none"> 担任が幼稚園で保管します。退園時や修了時に返却します。 ※紛失や追加購入の希望がございましたら、園にご相談ください	靴袋 着替え袋 着替え用ファスナー付き袋 手さげ袋 スモック ループタオル（年少組） 弁当袋 ランチョンマット 手拭き コップ 通園靴 上履き 園庭用運動靴 白の襟付きシャツ又はブラウス 白ハイソックス（気候に応じてソックスも可） 冬季の園庭用上着 保護者用上履き（来園時にご持参ください）

◎夏の園服は年中組から着用します。年少組が夏服申し込みをする時期は、入園後に担任からお知らせします。

(1) 保育中の服装

- 自分で着脱ができ、運動しやすく汚れてもよい服装にしましょう。
- 男女共に、年間を通して動きやすいズボンです。ハンカチが入る大きさのポケットがあるものにしてください。
- スカートや伸縮性のないもの、裾の広がったもの、フードやフリルなどの飾り付きの洋服は動きを妨げて危険です。着せないようにしましょう。また、肩や背中や袖口にボタンがあるもの、紐結びになっているもの等、自分で着脱できない服は着せないでください。
- 園で購入する紺の半ズボンと体操服は、運動会や儀式などの他、普段着としてもご活用ください。
- 女児の髪結びは、飾りがあると園帽子やカラー帽子をかぶる際、邪魔になります。また、安全のために、飾りのないゴムを使用しましょう。ヘアピン、カチューシャやヘアバンドは禁止です。身体測定日には正確に計測するために、頭頂部が平らになるよう結ぶ位置にご注意ください。

【儀式の服装】（入園式・修了式・始業式・終業式・周年式典があるとき）

*白の襟付きシャツまたはブラウス（ポロシャツ可）

*紺の半ズボン

*白いハイソックス（始業式・終業式は、気候に応じてソックス可）



(2) 登園時の服装

園服(冬用)

年少3歳児10月から



園服(夏用)

年中4歳児5月から



- 動きやすい服装の上に、園服を着用します。
- 年少組は、入園式で冬園服を着用後は、10月の衣替えまで園服は着用しません。それまでは、動きやすい服装と園帽子のみを着用して登園します。
- 名前は、防犯のため内側に書いてください。
- 名札は、園服の下に着る服に付けてください。*名札を付ける器具は使用しないでください。

園帽子(冬用)



園帽子(夏用)



- 帽子内側のラベルに記名し、ご家庭で決めたマークを1つ付けてください。
- ゴムが伸びたら適宜に取り替えましょう。
- 帽子外側には飾りを付けなくてください。

通園リュック



- 通園リュック側面のラベルには、家庭で決めたマークを記入してください。
- 不審者対応のため、ラベルに名前は書かないでください。
- 安全のため、キーホルダーや飾りは付けなくてください。

(3) 運動会の服装

体操服

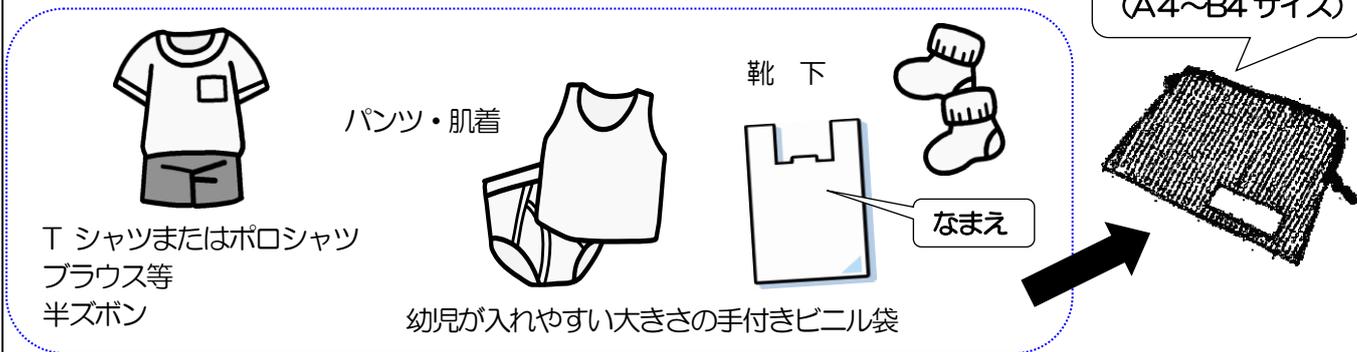


- 運動会で、紺の半ズボンと一緒に着用します。
- 寒いときは、長袖体操服、または半袖体操服の下に白の長袖Tシャツを着用しても構いません。

(4)持ち物について

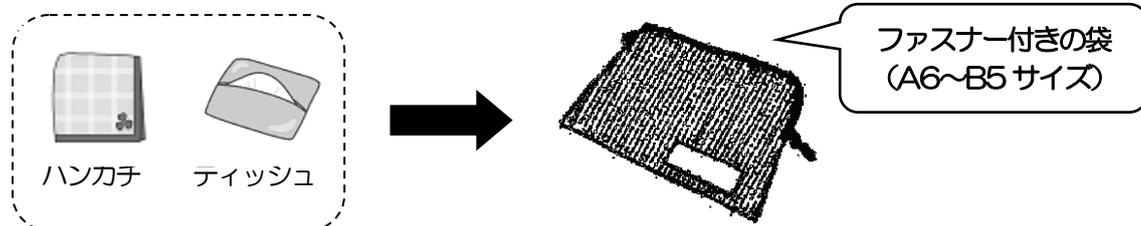
◆着替え

すべての持ち物に名前を書きましょう。
Tシャツ類、ズボン、肌着、パンツ、靴下、ビニル袋を、1組ずつ
ファスナー付きの袋（A4～B4サイズ）に入れてください。

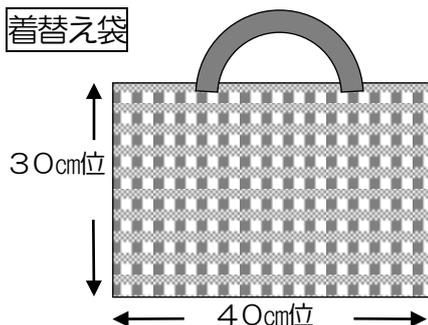


◆ハンカチ・ティッシュの予備

・ファスナー付きの袋（A6～B5サイズ）に入れてください。



着替え袋

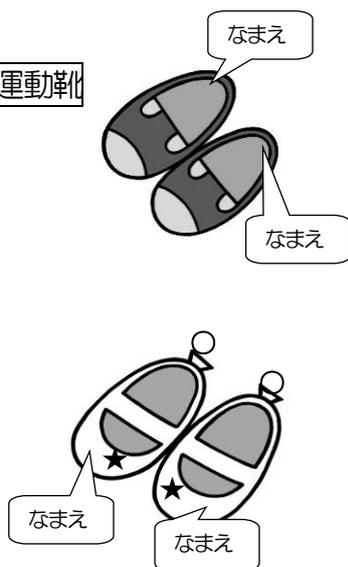


- ・着替えをした翌日に、補充分の着替えとビニル袋を持たせてください。
- ・排泄の自立が難しい場合は、パンツ・ズボン・靴下を多めに入れてください。
- ・パンツの替えが足りない場合は、園で新しい物を用意します。返却の際には、新しい物を購入し、袋に入れてお返しください。

通園靴

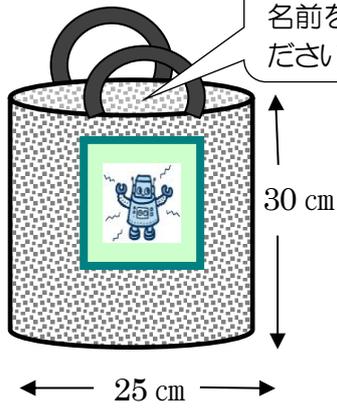
園庭用運動靴

上履き



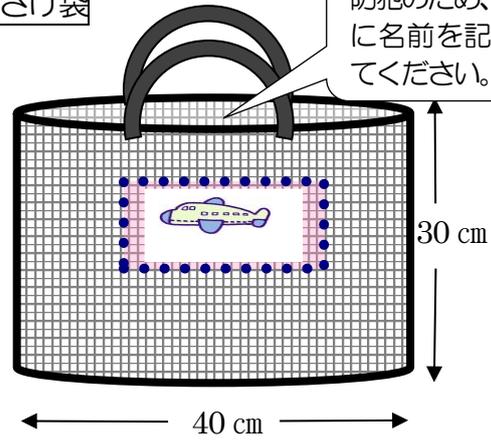
- ・自分で着脱できる物にしてください。
- ・通園靴と園庭用運動靴は中敷きに、上履きは外側に名前を書いてください。
- ・サンダル、ブーツ、紐靴、チャック式の靴、光る靴等をご遠慮ください。
- ・上履きは、柄のない白色運動靴にしてください。
- ・☒★のように親指の位置にマークを付けると、左右のマークを合わせることで正しい履き方を覚えやすくなります。
- ・上履きは、週末に持ち帰り、洗って休み明けに持ってきます。
- ・園庭用運動靴は、学期末に持ち帰ります。

靴袋



- 上履きを週末に持ち帰ります。
- 出し入れがしやすいように形に配慮し、大きめの物をご用意ください。

手さげ袋



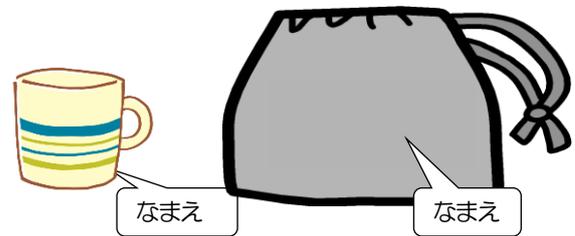
- キルティングのような厚手の布が扱いやすいです。
- 子どもたちの製作物などを持ち帰ることに使います。

カラー帽子

- 白色の面の左側に名前を記入してください。
- カラー面の左側に家庭で決めたマークを1つ付けてください

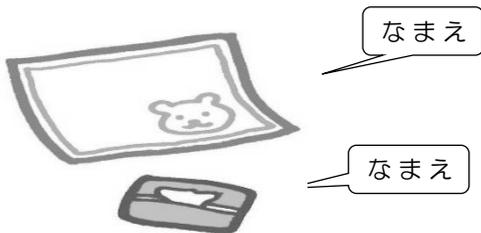


コップとコップ袋



- コップは安定感があり、割れない物をご用意ください。
- コップ袋は、特に口が大きく開いて、出し入れをしやすい物をご用意ください。
- 見やすい場所に記名してください。

ハンカチ・ティッシュ



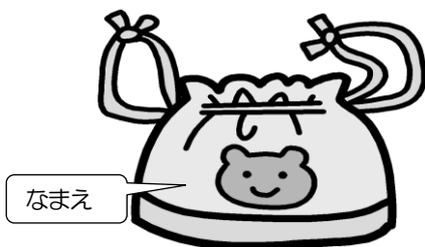
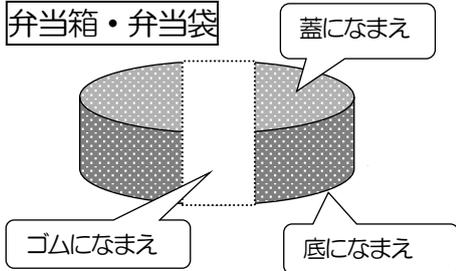
- ハンカチは、ポケットに入る大きさと、清潔なものを毎日持たせてください。
- ハンカチは、災害等にも使用します。
- ティッシュは、ビニルケースから出して、名前を書いた布ケースに入れ替えて持たせてください。ビニルはポケットから滑り落ちやすく、また、ビニルが裂けて出てしまいやすいです。
- 外付けポシェットは使用しません。

歯ブラシ(年長組のみ)



- 歯ブラシは、毎日洗って持たせてください。
- 歯ブラシはキャップではなくケースに入れてください。
- 歯磨き粉は必要ありません。
- 見やすい場所に記名してください。
- 使用開始時期は、担任よりお知らせします。

弁当箱・弁当袋

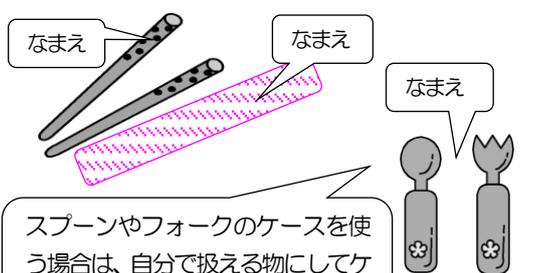


(年少組、年中組、年長組前半)



- 自分で扱えるものにしてください。
 - 弁当箱は幅広のゴムでとめましょう。
 - 袋には、箸やスプーン、年少組の手拭き等も入れます。出し入れしやすいように大きめに作ってください。
- ※年長組は、年度途中から大判のハンカチで包む予定です。その際は担任よりお知らせいたします。ランチョンマットは引き続き持たせてください。

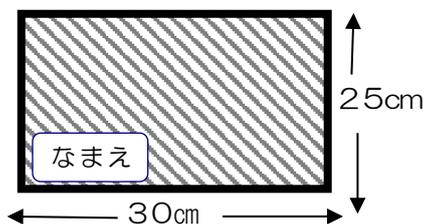
★スプーン・フォーク・箸・箸箱



スプーンやフォークのケースを使う場合は、自分で扱える物にしてケースにも名前を付けましょう。

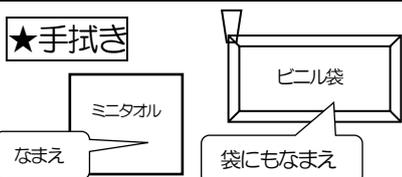
スプーン・フォーク・箸の3点セットの場合は、子どもが自分で扱える物・食事に必要な物だけを入れてください。

★ランチョンマット



- 洗い替えを用意して毎日清潔な物を準備してください。
- 布地は薄すぎても厚すぎても扱いにくくなりますので注意しましょう。
- 年長組が弁当袋から大判ハンカチに切り替えてもランチョンマットは必要です。

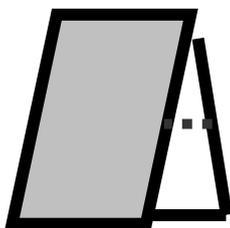
★手拭き



- テーブルに置いて、手や口を拭きます。
- ミニタオル (20×20~25cm程度の大きさ) は濡らしてください。
- ファスナー付ビニル袋は、幼児がタオルを使った後にしまいがちよう大きめにしてください。 筒型の容器は、自分で扱えるようになってから使用できます。

↑弁当給食注文日は、★印の物を弁当袋に入れて持たせてください↑

防災頭巾



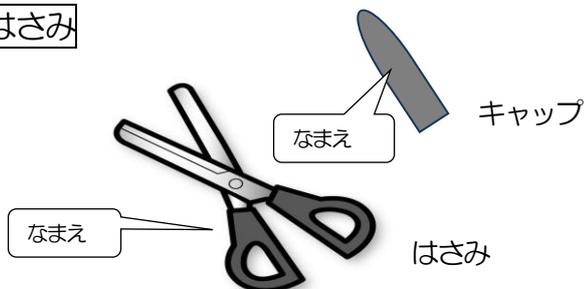
- 名前のみ記入し、組や住所他は書かないでください。学期中は保育室で保管し、長期休業期間は家に持ち帰ります。
- 付属のマスクは頭巾のポケットから落ちて紛失しやすいため、自宅で管理してください。火災時の煙対策は、ハンカチを使用します。

スマック



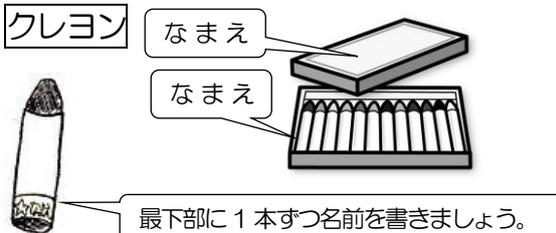
- 主に、絵の具遊びに使用します。
- 襟ぐりと袖ぐりは、ゴムの物にしてください。ゴムの長さを調整し、体に合うようにしてください。
- 前にポケットやアップリケがあると下の洋服に絵の具が染み込みにくくなります。
- 持参時期は、担任よりお知らせします。

はさみ



- キャップにも名前を書いてください。
- 年少組は、使用時期を担当からお知らせします。それまでは、ご家庭で保管してください。

クレヨン



- クレヨン一本一本に名前を書いてください。
- 箱の上下にも名前を書いてください。
- 年少組は、使用時期を担当からお知らせします。それまでは、ご家庭で保管してください。

水筒

- 肩ひも付きの物。
- 幼児が扱いやすく、水がこぼれない物。
- 水筒のフタと本体が付いていて、直接飲めるタイプの物。
- 水、またはお茶を入れます。スポーツ飲料やジュース類は入れないでください。
- 名前を書いてください。
- 年少組は、使用時期を担当からお知らせします。それまでは、水分補給や弁当時には、幼稚園で用意する麦茶をコップで飲みます。
- 安全のため、登降園時は通園リュックに入れてください。



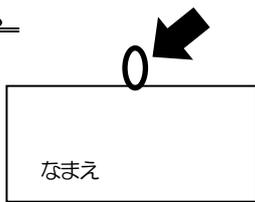
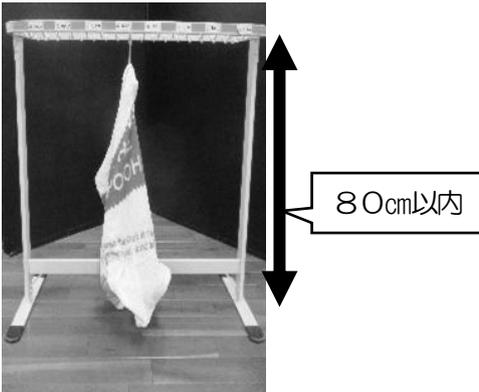
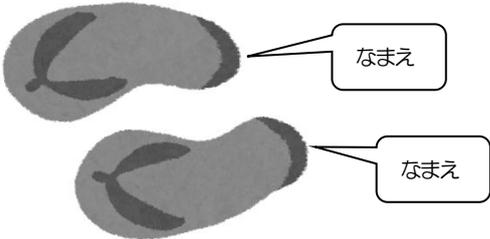
冬期の園庭用上着

- 12月から3月まで、気温が低いときに着用します。持ってくる日は11月の園日よりお知らせします。
- 子どもが自分で着脱できる物で、フードのない物にしてください。
- 名前を書いてください。
- 襟首の部分につるす紐を付けてください。



(5) 水遊び

下記の物を5月末までにご準備ください。幼稚園に持って来る日は、入園後に担任からお知らせします。
※すべての持ち物に記名してください。

<u>水着</u>		<u>水泳帽子</u>
<u>女兒</u>	<u>男兒</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・飾りのないシンプルな物。 ・白い布で名前を付ける。 ・色の指定はありません。 
<ul style="list-style-type: none"> ・ワンピース型 ・自分で着脱できる物。 ・肩紐が細かったり、クロスしていたりする物にご遠慮ください。 ・胸の左上の位置に白い布で名前を縫い付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエストが紐ではなく、ゴムの入っている物。 ・紐が付いている場合は、あらかじめ外してください。 ・左上に白い布で名前を縫い付ける。 	<u>水着バッグ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニル製で自分で扱える物。 ・内側に記名  <p>縦横 30 cm×35 cm位</p>
<u>タオル</u>	<u>ビーチサンダル</u>	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児用ラップタオル ・ポンチョタイプやフード付きでなく、ボタンでタオルの全面を広げられる物。 ・水着バッグにはボタンを外した状態に入れて持ってきてください。 ・フックに掛けるためのループを中央に付ける。  <ul style="list-style-type: none"> ・ラックに掛けて保管します。衛生上、床に付かないようにタオルの長さを調節して縫い止めてください。 ※タオルを開いた状態で吊したときにループを含めた高さ80cm以内 	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻緒タイプの物 ・スリッパタイプのサンダル、かかとに紐やベルトがある物はおやめください。  <p>かかと部分に、後ろから見て分かるように名前を書いてください。</p>	
	<u>ラッシュガード</u>	
	<p>*ラッシュガードは、<u>幼児が自分で着脱できる場合のみ着用可</u>です。特に、入水後濡れた状態では脱ぎにくいです。着用する場合は、<u>濡れた状態でも自分で扱えるようにしてください。</u></p> 	

(6) 遠足

○ 子どもたちの遊びや生活、経験の幅が広がるような目的地を計画して、実施します。

- ・登降園時刻や持ち物に変更がある場合は、遠足の手紙・『ルクミー』・掲示板等でお知らせします。
- ・行き先により諸経費が掛かる場合は、別途集金します。



【遠足の持ち物】

- ・リュックサック（通園リュックより大きい物） ・弁当 ・ランチョンマット ・水筒 ・手拭き
- ・ハンカチ ・ティッシュ ・ビニルシート
- ・レインコートと名前を書いた手付きのビニル袋（雨天が心配される時）

<遠足の弁当>

- ・食後の活動を十分に経験させたいため、いつもの弁当や弁当給食より少なめに入れてください。



- ・リュックサックは、遠足の持ち物がすべて入り、自分で出し入れしやすい大きさの物。
- ・水筒も中に入れます。

<ビニルシート>

- ・約60cm×90cm程度で、たたみやすい素材の物。
- ・ビニルシートを入れる袋は、幼児が使いやすいように大きめの物。
- ・袋にも記名してください。

<水筒 (P.17参照) >

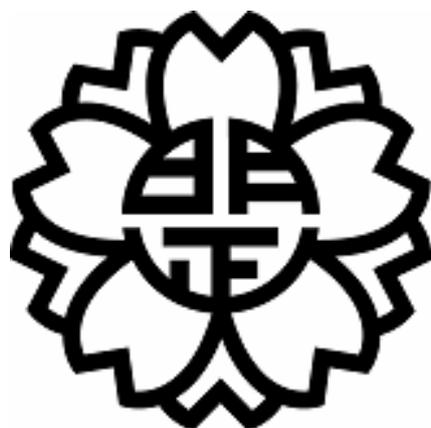
- ・肩ひも付きの物。
- ・幼児が扱いやすく、中身がこぼれない物。
- ・湯冷まし、または麦茶を入れます。スポーツ飲料やジュース類は入れないでください。

<服装>

- ・動きやすい服、ズボン
 - ・ハンカチ、ティッシュを、ズボンのポケットに入れてきてください。
 - ・必ず、履き慣れた運動靴と靴下を履かせてください。
- *名札はいりません。

<お願い>

- ・遠足の当日、具合が悪い場合は無理に行かせず、欠席させてください。
- ・乗り物に酔いやすい場合は、事前に担任に連絡用紙でお知らせください。また、酔い止めの薬が必要な場合は、薬を飲ませてから登園させてください。なお、復路分の薬を預かることはできません。



中央区立明正幼稚園

〒104-0033 東京都中央区新川2-13-4

電話 03-3551-4864

FAX 03-3552-7510

URL <https://msk.edu-chuo.tokyo>

